

令和4年度

ポート赤碕内通路リニューアル工事

建築工事		電気工事		機械工事	
A-0	表紙・図面リスト	E-01	空調電源計装・自火報設備	M-1	空調換気図
A-1	建築 改修特記仕様書(1)	E-02	電灯設備		
A-2	配置図、付近見取り図、工事概要	E-03	コンセント設備		
A-3	既存平面図 改修平面図 仕上表				
A-4	既存天井伏せ図 改修天井伏せ図				
A-5	既存展開図				
A-6	改修展開図				
A-7	塩ビシート貼りイメージズ-1				
A-8	塩ビシート貼りイメージズ-2				

		1級建築士登録第304900号 安谷 潔美		住空間デザイン カノン設計室 KANNON TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事	NO A — 0
		DATE R4. 12	CHIEF	DRAW	表紙・図面リスト	DRAWING NO

I. 工 事 概 要

- [illegible]

1. 共通仕様

- | 項 目 | 特 記 事 項 |
|----------------------------------|--|
| ① 適用基準等 | <p> ㉔ 建築工事標準設計図 (平成 2 8 年版) 国土交通省大臣官署官庁舎建築設備標準設計 (以下「建築設備図」といふ)
 ㉕ 建築改修工事標準指針 (令和元年版) 国土交通省大臣官署官庁舎建築設備標準設計
 ㉖ 工事等実施指針ガイドブック建築工事編及び解体工事編 (平成 3 0 年版) 国土交通省大臣官署官庁舎建築設備標準設計
 ㉗ 建築解体工事標準仕様書 (平成 3 1 年版) 国土交通省大臣官署官庁舎建築設備標準設計
 ㉘ 建築工事管理指針 (令和元年版) 国土交通省大臣官署官庁舎建築設備標準設計 </p> |
| ② 官公庁その他への手続
[1. 1. 2] | <p>工事の施工に伴い必要な官公署、その他への手続は、検査並びにその費用は、本工事請負者の負担とする。</p> |
| ③ 電気保安対策等
[1. 3. 3] | <p>担当技術者の配置を補佐し、当該工事の工事期間中自家用電気工物の保安の業務を行うものとする。</p> |
| ④ 工事安全計画書
[3. 3. 7] | <p>建築工事安全施工技術指針及び建設公営災害防止対策要綱を参考に、工事安全計画書を監督職員に提出する。</p> |
| ⑤ 発生材の処理等
[1. 3. 12] | <ul style="list-style-type: none"> ・ 引置しを要するもの () ・ 特別管理産業廃棄物 ()
処理方法 () ・ 現場において再利用を図るもの () ・ 再生資源化を図るもの () ○コンクリート塊 ・ アスファルトコンクリート塊 ・ 建設発生廃材 ・ P C 含有シーリング材の調査・処理 ・ 第一次判定 <p>現場にてサンプルを採取し、シーリング材種別及び分析の要否を判定する。</p> <p>採取箇所 図指示
採取箇所数 計 箇所</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二次判定 専門分析機関にて P C 含有量の分析を行う。 分析箇所 計 箇所 ・ 除去処理工事 ・ 除去範囲 図指示 <ul style="list-style-type: none"> ・ せつこうボードの処理 ・ 石膏含有せつこうボード 改修轉設仕様書第 9 項による ・ ひま・カドミウム含有せつこうボード ・ 製造業者に回収依頼 ・ 埋立処分 (暫定処理最終処分) ・ 処分施設の名称・所在地 () ○ 石膏含有、ひま・カドミウム含有以外のせつこうボード ○ 再生資源化 (再生資源化施設) ・ 焼却処分 (管理焼却最終処分場) ・ 処分施設の名称・所在地 () |
| ⑥ 環境への配慮
[1. 4. 1] | <p>化学物質を放出させる建築材料等</p> <p>1) 本工事の建築内容に使用する建築材料等は、設計図書に規定する品質及び性能を有すると共に、次の①から④を満たすものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 看板、木質フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ウリア樹脂塗料、塗紙、接着剤、保温材、界面材、断熱材、装具、仕上り装材は、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しない又は危険が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料にトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可変剤 (フタル酸ジ- n-ブチル及びフタル酸ジ- 2-エチルヘキシルを含有しない) 無揮発性の可変剤を除く) が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料等を使用して作られた家具、窓紙、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを含有しないか、危険が極めて少ない材料を使用したものとする。 <p>また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒド放散量」は、次のとおりとする。</p> <p>2) ホルムアルデヒド放散量の区分において、規制対象外とは次の①又は②に該当する材料を指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 建築基準法施行令第 2 0 条の第 7 第 1 項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料 ② 建築基準法施行令第 2 0 条の第 7 第 4 項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料 |

① 一般共通事項

⑦ 材料の品質等

- | | |
|-------------------------|--------------|
| 5) 製造業者等に関する資料の提出を定める材料 | |
| ※ 特殊鋼製ダッキプレート | オーバーヘッドドア |
| 鉄骨柱下解放錠モルタル | 防水剤 |
| 無収縮グラウト材 | 防蟻金網断熱材 |
| 乾式保護柱 | フリースアクセスフロア |
| 既製鋼金モルタル | 可動開仕切 |
| ルーフドレン | 移動開仕切 |
| 細氷断熱材 | トレイブス |
| アルミニウム製建具 | 電気用成形ラライニング材 |
| 鋼製建具 | 天井点検口 |
| 鋼製吸音建具 | 床点検口 |
| ステンレス製建具 | グレーナング |
| 紙面瓦 | 層上給化システム |
| フロアダクト | トブラライト |
| 自動扉機構 | エボキシ樹脂 |
| 吊钩式上吊り引戸機構 | ポリマーセメントモルタル |
| 連置シャッター | 既製鋼合目地材 |
| 暖室シャッター | 鋼板鋼木付 |

⑧ 特別な材料の工法

- 検査仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品名の指定工法による
- 製造範囲：外壁（底、左、右共）・屋根・窓枠・内装
- 調査方法：※ステーション長による打撃及び目視・指示
- 外観調査は、外壁面及びローに面する外壁面のひび割れ、浮き、欠損、内部まで貫通したひび割れ及び雨漏り等の有無についての位置及び数量（個数、長さ、面積）の調査を行う。
- 断層調査は、防水面のひび割れ、浮き、欠損、目地欠損及び雨漏りの有無についての位置及び数量（個数、長さ、面積）の調査を行う。
- また、その報告書は、調査結果を立面図等に記載し累計表を添えて監理員より２部提出する（必要に応じて写真撮影を要する）。

- 10 調査のための

- 補修方法 ※ 図示

- 11 技龍士

- 下級により適用する技能士は、適用する工事作業中、1名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う
(技能士：職業能力開発促進法による一級技能士又は単一職種の高資格を有する者)
また、その技能士はその者が技能士であることがわかる名札(下記参考)を常に着用する

工事項目	技能検定職種	技能検定作業
仮設工事	とび	＊ とび作業
防水改修工事	防水施工	＊ アスファルト防水工事作業 ＊ ウレタンゴム系複層防水工事作業 ＊ アクリルゴム系複層防水工事作業 ＊ 合成ゴム高シート防水工事作業 ＊ 強化ビニル高シート防水工事作業 ＊ セメント高防水工事作業 ＊ シーリング防水工事作業 ＊ 改質アスファルトシートローラー工法防水工事作業 ＊ FRP防水工事作業
外壁改修工事	壁面塗着剤注入施工	＊ 壁面塗着剤注入工事作業
	左官	＊ 左官作業
建具改修工事	タイル張り	＊ タイル張り作業
	サッシ施工	＊ ビル用サッシ施工作業
	ガラス施工	＊ ガラス工事作業
	自動ドア施工	＊ 自動ドア施工作業
	建具製作	＊ 木製建具加工作業
内装改修工事	ガラス用フィルム施工	＊ 建築フィルム作業
	建築大工	＊ 大工工事作業
	建築金金	＊ 内外装金金作業
	内装仕上施工	＊ 網張り下地工事作業 ＊ プラスチック系床仕上工事作業 ＊ カーペット系床仕上作業 （２級及びプラスチック系仕上工事作業を含む） ＊ ボード仕上げ工事作業
	装飾	＊ 装飾作業
	左官	＊ 左官作業
	タイル張り	＊ タイル張り作業
屋根改修工事	屋根	＊ 屋根葺き替え作業
附置改修工事	とび	＊ とび作業
	鉄筋施工	＊ 鉄筋組立作業
	型枠施工	＊ 型枠工事作業
	コンクリート圧入施工	＊ コンクリート圧入工事作業
	鉄工	＊ 構造物鉄工作業
	配管	＊ 建築配管作業
環境配慮改修工事	節面表示施工	＊ 節削減ペイントマーカール工工事作業 ＊ 加熱ペイントマシマーカール工工事作業
	造園	＊ 造園工事作業

① 一般共通事項

- 12 化学物質の温度測定
-
- [1 6 9]

⑬ 完成写真

- ⑭ 完成時の提出図書
[1 8 1~3]

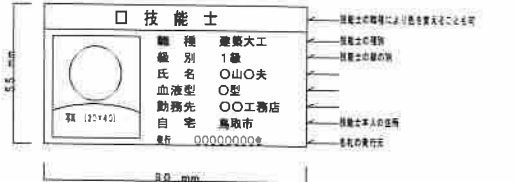
- ⑮ 施工図及び施工計画書
[1. 8. 2]

- 16 船隻及海上活動統計

- 17 撤去部分

- ⑬ 保全に関する資料
[183]

《技能士名札参考図》



- 1) 測定対象物のホルムアルデヒド、スチレン、トルエン、キシレン、エチルベンゼンの室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督職員に報告する。
- ・パラジクロロベンゼンを追加して分析を行う
- 2) バッツプ監視取組機器を用いて測定を行う場合には、次の要領で測定及び分析を行う。
- ① 30分間換気
- 測定対象室のすべての窓及び扉（送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉を含む）を開放し、30分間換気する。
- ② 5時間換気
- ①の後、測定対象室すべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、送り付け家具、押し入れ等の収納部分の扉は開放したままとする。
- ③ 測定
- イ 窓の状態のままで測定する。
- ロ 測定時間は、8時間測定とする。なお、工機等の都合により、2.4時間測定が行えない場合は、8時間測定とする。なお、8時間測定の場合は、午後2時～3時が測定開始等の中央となるよう、10時30分～18時30分までの時間帯で測定する。
- ハ 測定回数は1回とし、複数回の測定は不要とする。
- ④ 分析
- 測定対象化学物質を採取したバッツプ監視取組機器を分析機関に送付し、濃度を分析する。
- ⑤ その他
- 監督職員から測定方法に関する注意事項等の指示を受ける。

区 分	分類・規格	撮影箇所	部数	備考
② 工事記録写真	カラーサービス判	各工種の工機室	1部	
③ 完成写真	カラーサービス判	* 内部指示室等 * 外部指示室等	6部 2部	
※	カラーキャビネ判	* 内部 監修 * 外部 監修	部 部	
※ パネル	カラー	* 四つ切 監修 * 半切 監修 * 全紙 監修	部 部 部	

- ① 電子データ提供の可否 (完成写真)

- 下記のものを監査職員に提出する
- | | | |
|----------------------------------|-----|---------|
| ① 原図 A2 版又は A3 版（計図面の第 2 原図訂正不可） | 1 部 | 原図ケース使用 |
| ② C A D データ | 1 式 | |
| ③ 原図の大型コピー（白図）の 2 つ折製本 | 2 部 | |
| ④ 縮小版 2 つ折製本（A4 版） | 2 部 | |
| ⑤ 知照、縮小版 A3、（元帳） | | |

- 面の種類及び内容（改修前後の状態が分かるように要する）
- 高内面・配置面：配置面には外周壁端、屋外給排水系取合面
- 改修要箇所：改修箇所、部位等を表示する
- 平立面：層名、耐震部（防火壁）、避難経路等を表示する
- 立面図：外壁仕上、補修範囲等を表示する
- 断面図：階高、天井高等を表示する
- 仕上表：屋外、屋内（各層）の仕上表を表示する
- 積算面：鉄、鋼造躯体等を表示する
- その他（電気設備図、機械設備図）
- 原図ケース：設け面の背後面に「施設コード・群別名称」ラベルを貼付する

- 提出した施工図及び施工計画書の著作に係わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

- 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して、監督職員の承認を受ける。

設備工事との取り合い		配管	電気	機械
・	コンクリート壁、床、天井裏側	補修 開口	※	
・	鉄骨造の開口まじり補修		※	※
・	照明器具、終結等の吊りボルト		※	
・	軽鋼骨製のパッキン取付用下地		※	
・	塩込分電盤、端子盤、プルボックスの 取付及び塩込部分の補修	取付 補修	※	
・	○フロア・フリーアクセスフロアの切込み及び補修		※	
・	塩込自動撒消設備の天井	塩込		※
・	壁の切込加工、下地の補修	補修	※	
・	自動閉鎖装置を取付けた防火戸の切込み、補修及び ドクローザ、フロアヒンジ		※	
・	電気室、自家発電室などの基礎及びビット（表を含む）		※	
・	テレビアンテナ		基礎 アンカーボルト	※
・	天井点検口		※	
・	機置部屋のコンクリート基礎	室内・屋外設置 地上設置	※	※

- コンクリート、モルタル等の嵌合部分の境目は、原則としてダイヤモンドカッター切りとする。
ダイヤモンドカッター切り深さ(※30mm程度)

- 雪荷基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
 年平均風速 $V_0 = \quad \text{m/s}$
 地表面粗糙度区分 $\cdot \text{I} \cdot \text{II} \cdot \text{III} \cdot \text{IV}$
 雪区分 平成12年5月31日建設省告示第1455号 別表()

- ① 主な主資材、機罩等のメーカー及び施工者一覧表
- ② 機罩性能試験成績書及び取組説明書
- ③ 保証書
- ④ 官公署提出書類（保守に必要とするもの）
- ⑤ 機罩物の保守に関する説明書、取組案内書

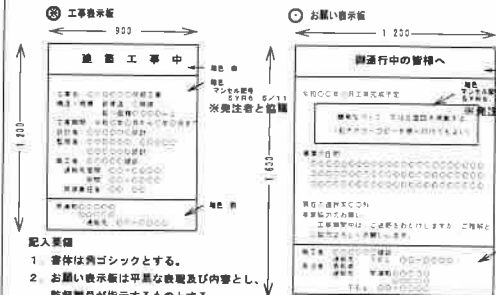
① 一般共通事

- | | | |
|----|---------------|--|
| 10 | 火災保険等 | 工事目的物及び工事材料等工事途中の事故に伴う損害を補てんするため火災保険等に参加する。
(保険の加入期間は、工事完成引き渡しまで(概ね工期+21日)とする。) |
| 21 | 環境配慮 | 鳥取県公共事業環境配慮指針 ※ 対象工事 ・ 非対象工事 |
| 22 | 建設リサイクル法 | ※ 対象工事 ・ 非対象工事 |
| 23 | 鳥取県福祉のまちづくり条例 | ※ 対象工事 ・ 非対象工事 |
| 24 | 景観形成条例 | ※ 対象工事 ・ 非対象工事 |
| 25 | 建築物省エネ法 | ※ 対象工事 ・ 非対象工事 |

② 仮設工事

- | | | |
|-------------------------------|--|----------------|
| <p>観音・勢比咩等の対策
[2 2 1]</p> | <p>観音・勢比咩等の対策 ・ 防音パネル ※ 防音シート
防音パネル、防音シートを取り付ける足場の設置範囲
※ 工事に必要な範囲</p> | <p>※ 防音シート</p> |
| <p>足場その他
[2 2 1]</p> | <p>「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別添「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置を方式又は(3)手すり先行専用方式による。行</p> <p>外部足場 ・ 設置する (範囲 ※ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない
防音シート ・ 設置する (範囲 ※ 工事に必要な範囲) ・ 設置しない
内部足場 ○ 設置する (※ 独立、足場板等) ・ 設置しない
材料、搬出材料の運搬方法 ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 ・ D 種 ・ E 種
C 種: 利用可能なエレベーター ()
D 種: 利用可能な階段 ()</p> | |
| <p>既存部分の養生
[2 3 1]</p> | <p>養生方法等
○ 既存部分の養生方法 ※ ビニルシート、合板等による
○ 既存真鍮、既存防護網の養生方法 ※ ビニルシート ・
・ 既存ブラインド、カーテン等の養生方法 ※ ビニルシート等 (取外し再取付けを行う)
保管場所 ※ 構内既存施設内
・ 固定された真鍮等 (鋼皮、鉄、ロッカー等) の修繕 実行 (図示)
○ 既存部分に汚染又は損傷を考えるとそれがある場合は養生を行う。また、万一損傷を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。</p> | |
| <p>仮設防仕切り
[2 3 2]</p> | <p>仮設防仕切り及び仮設段の設置標準 ※ 図示
仮設防仕切りの構造と材質等
・ A 種 ※ B 種 ・ C 種 ・ 国産
A、B 種の仕上げ材 ※ 石こうボード (G5-R 厚さ9.5mm) ・ 合板 (普通合板 厚さ9mm)
A、B 種の片面への塗装等 ・ 行 実行わない
A 種のガラスワール等の充填材
※ 行 行 (JIS A 6301 ガラスワール電着材2号32K 厚50mm)
・ 行 行 行</p> | |
| <p>監査職員事務所
[2 4 1]</p> | <p>※ 設置する m 程度 ・ 設けたい ※ 実施者と協議
現場に設置する設備品等、現場設備等の施工条件明示事項による。
・ 既存建築物の一部を使用する (場所)
・ 構内に設置する 規模 (m)</p> | |

⑥ 應氏振



- | | | |
|------------------|------------------|--|
| 工事用水 | 構内既存の施設 ※ 利用できない | 利用できる (<input checked="" type="radio"/> 有償 <input type="radio"/> 無償) |
| 工事用電力 | 構内既存の施設 ※ 利用できない | 利用できる (<input checked="" type="radio"/> 有償 <input type="radio"/> 無償) |
| 工事用設備物 | 構内既存の施設 ・ 利用できない | 利用できる |
| 工事現場の
イメージアップ | | |

特記事項			1級建築士登録第304900号 安谷深美			カノン設計室 〒689-2352 鳥取県東伯郡琴浦町浦安370 KANNON TEL 0656-52-1175 FAX 0656-52-1176		工事名 ポート赤碓内通路リニューアル工事		図面NO A-1 建築	
			日付 R4.12	縮尺	製図			図面名 建築 改修特記仕様書(1)			

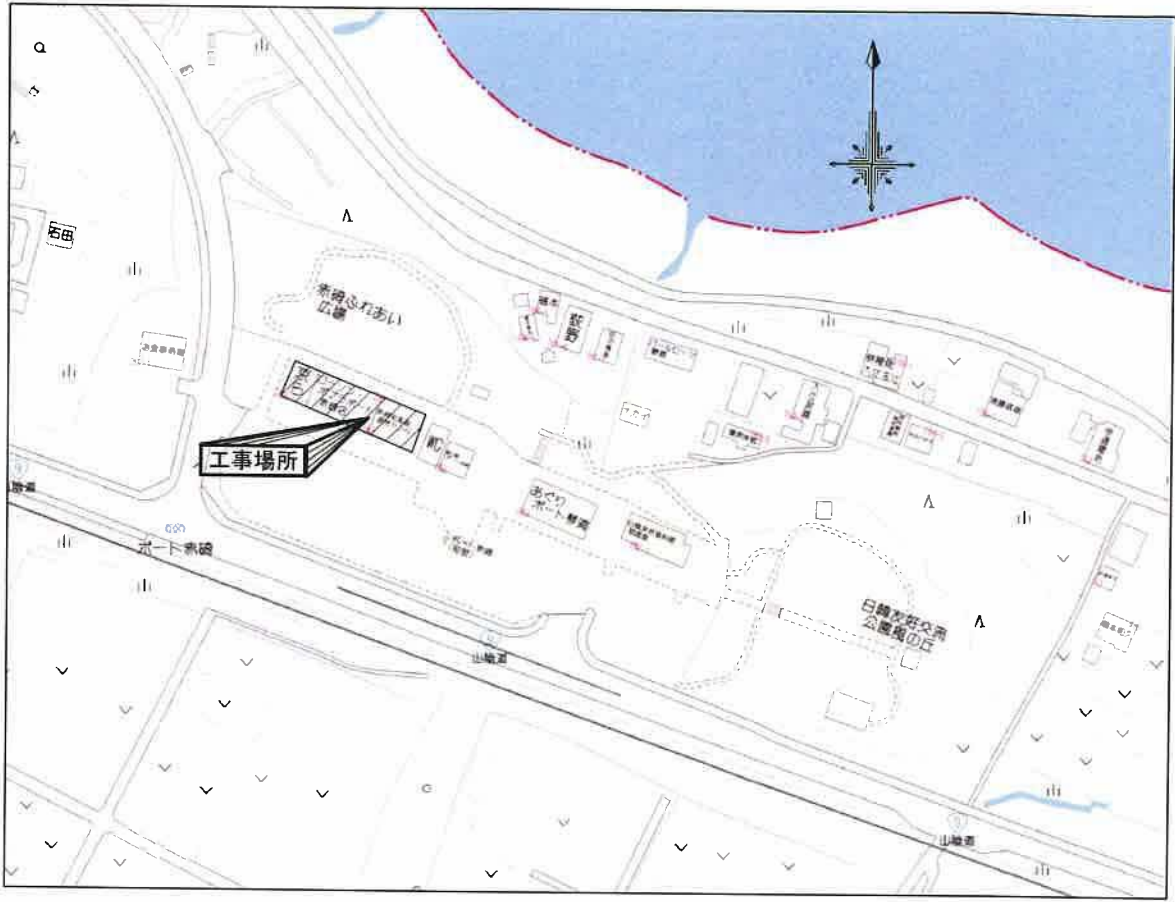
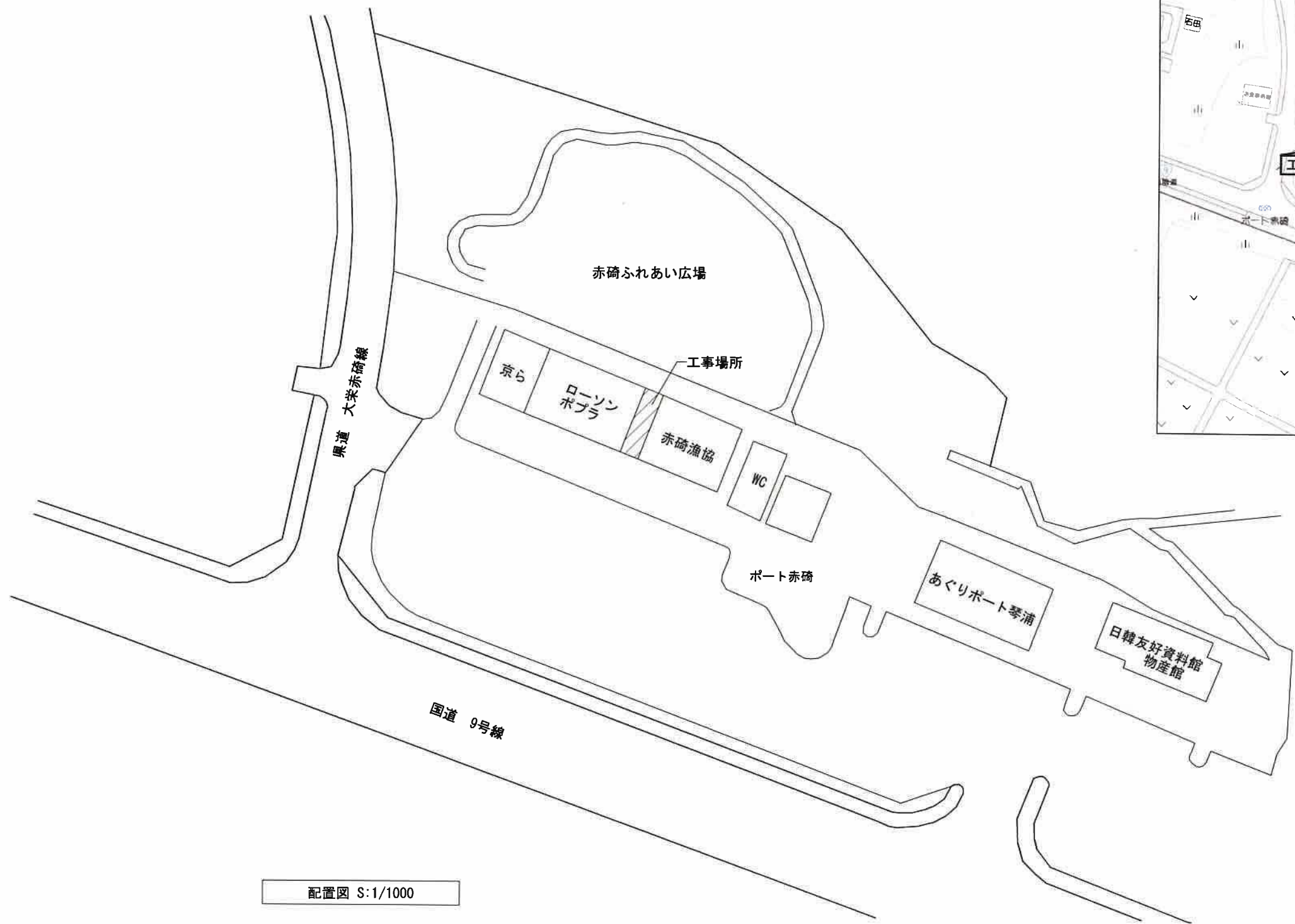
ポート赤碕道の駅通路案内所と北側入口の改修工事をする。

工事内容詳細については別図参照のこと。

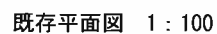
施設運営に支障がないよう、十分な打合せを行い施工する事。

工期についても、留意し同様とする。

工事車両の通行及び駐車は、施設利用者等に迷惑のかからない様にし、十分な安全対策を行う事



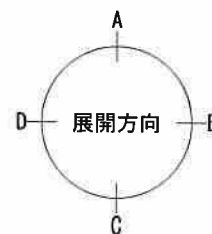
1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事 配置図、付近見取り図、工事概要	S S=1:1000	NO A 2 DRAWING NO
DATE	CHIEF	DRAW	R4. 12					



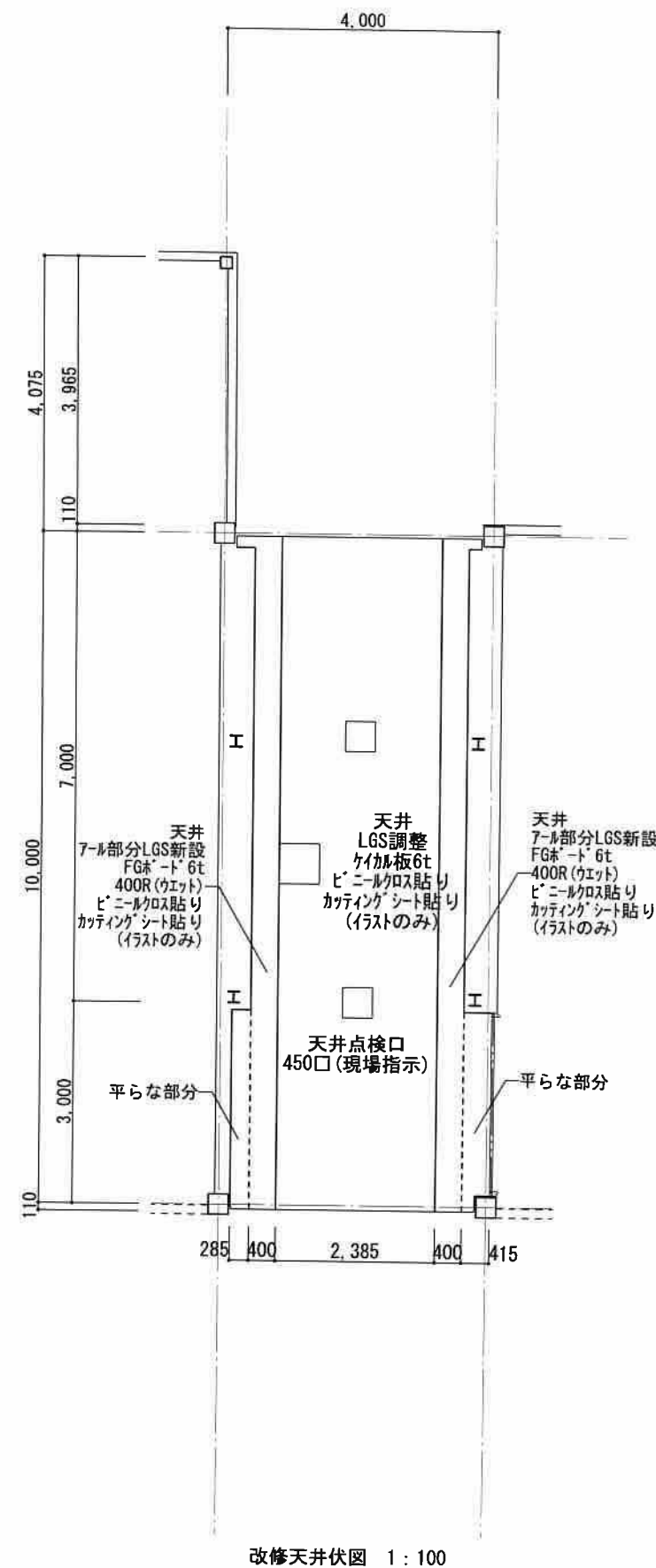
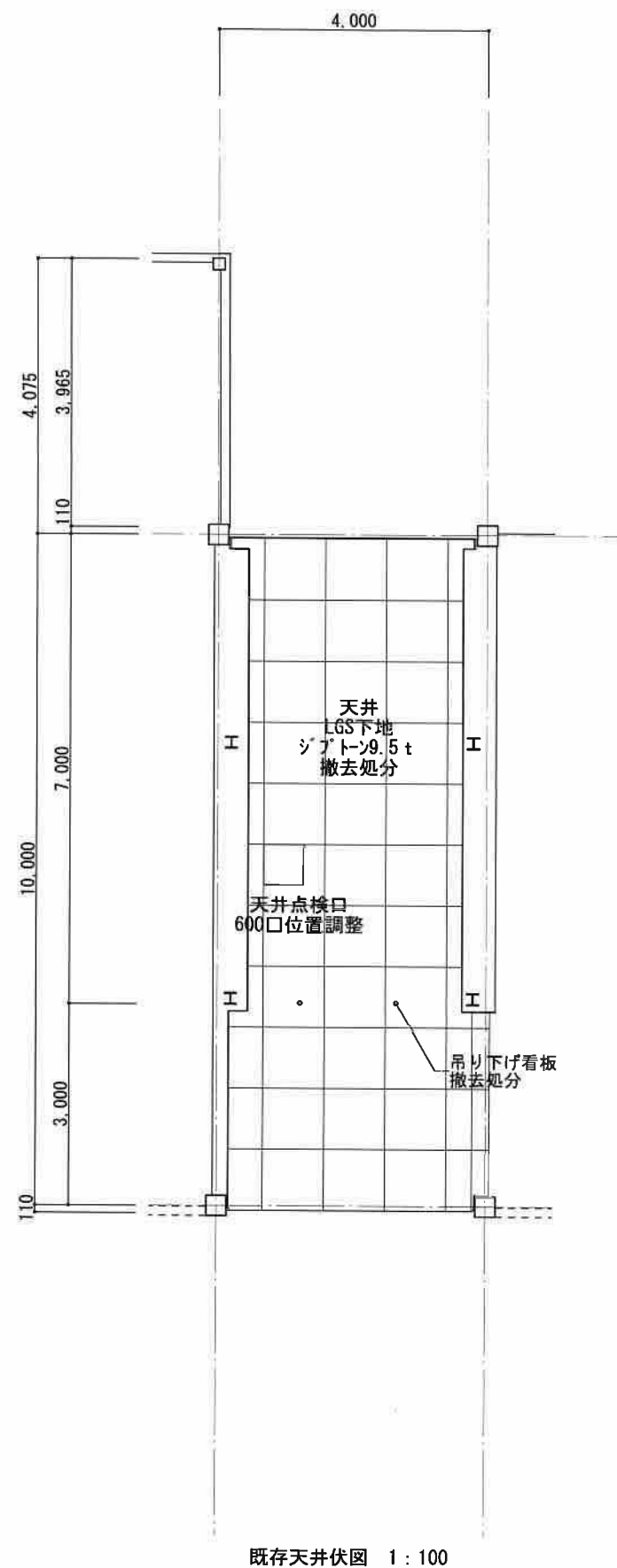
	床	花壇	軒樋 豎樋
改修前	100角タイル張(磁器質)	焼過ぎしが 積み H=180 撤去処分 植木H=800共	案内所北側出入り口上部のみ ≒8m 軒樋 W120 集水器 縦樋 Φ75 塩ビ 撤去処分
改修後		壁画 駒工藝別図参照(同等品) コテ押え コンクリート100t 碎石80t 既存タイル部分取り合い調整	軒樋 W120 集水器 縦樋 Φ75 塩ビ

	床	幅 木	壁
改修前	100角タイル張(磁器質)	一部ステンス 撤去処分	吹付タイル 一部掲示用クロス貼り ビニル用サッシ
改修後	既存の上 床材に樹脂脂防滑工法 下地処理共	一部ステンス H=100	既存壁:下地処理溶剤インクジェット出力塩ビシート貼り ビニル用サッシ: 建具調整 自動ドア復旧 制止体間知付き 桧ダインロックシート貼り ガラス面:インクジェットシート貼り

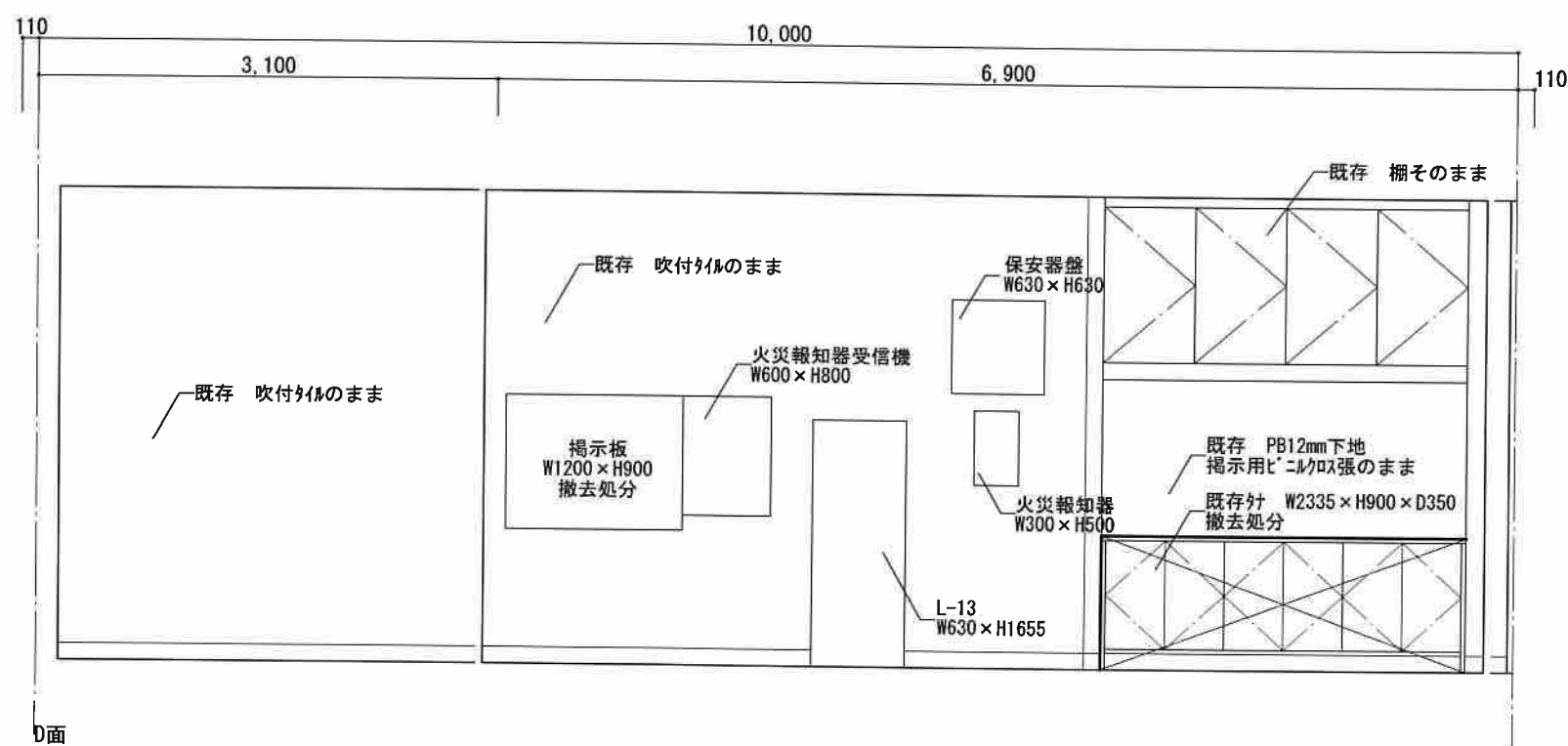
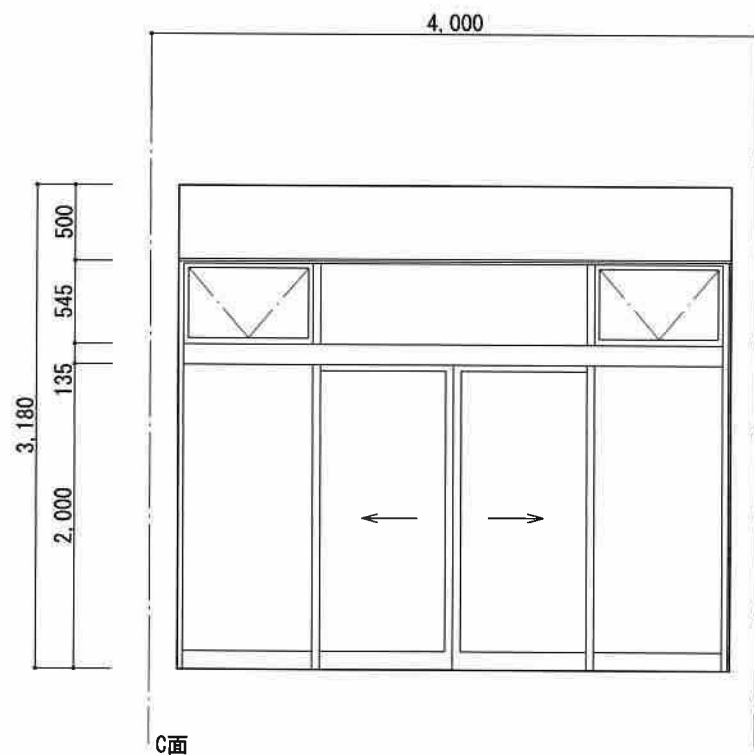
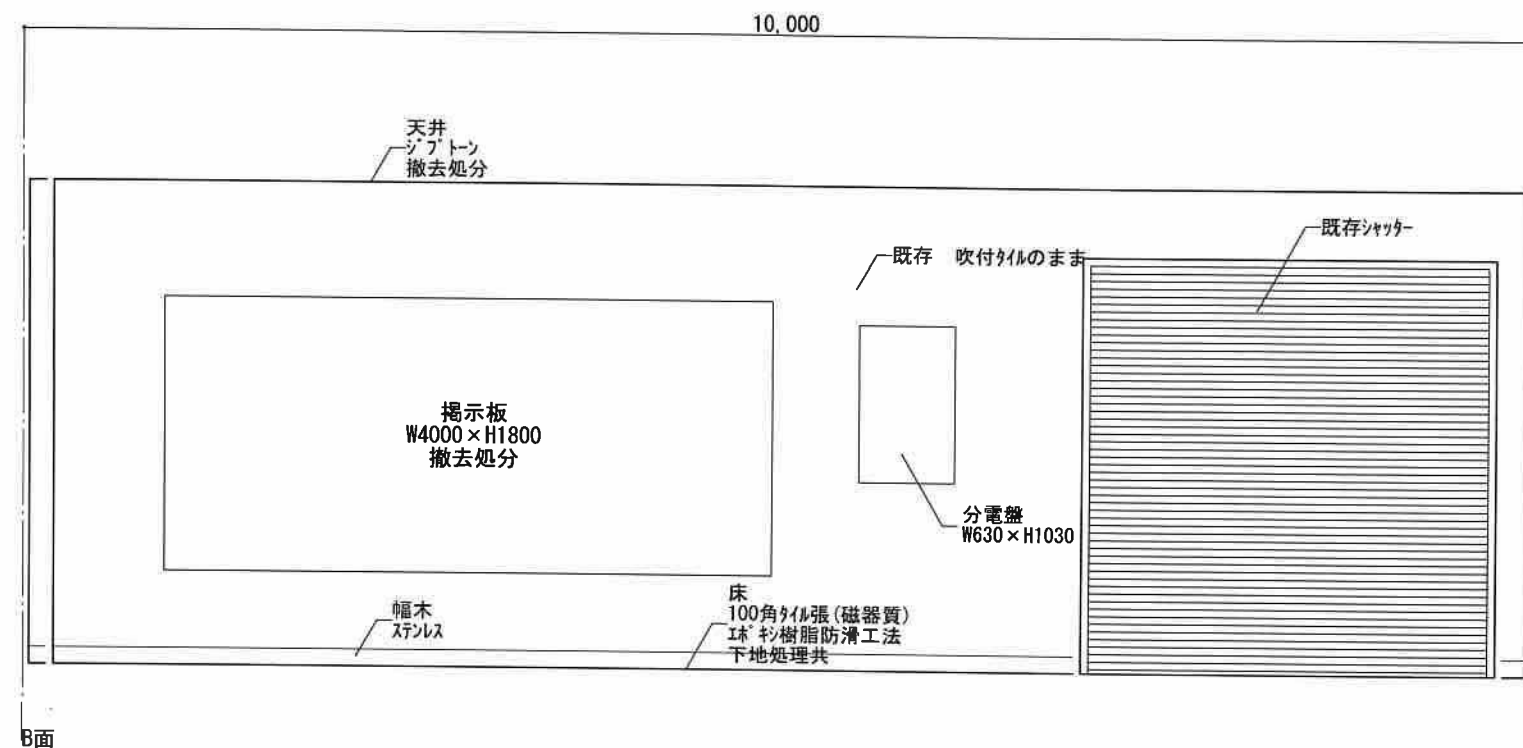
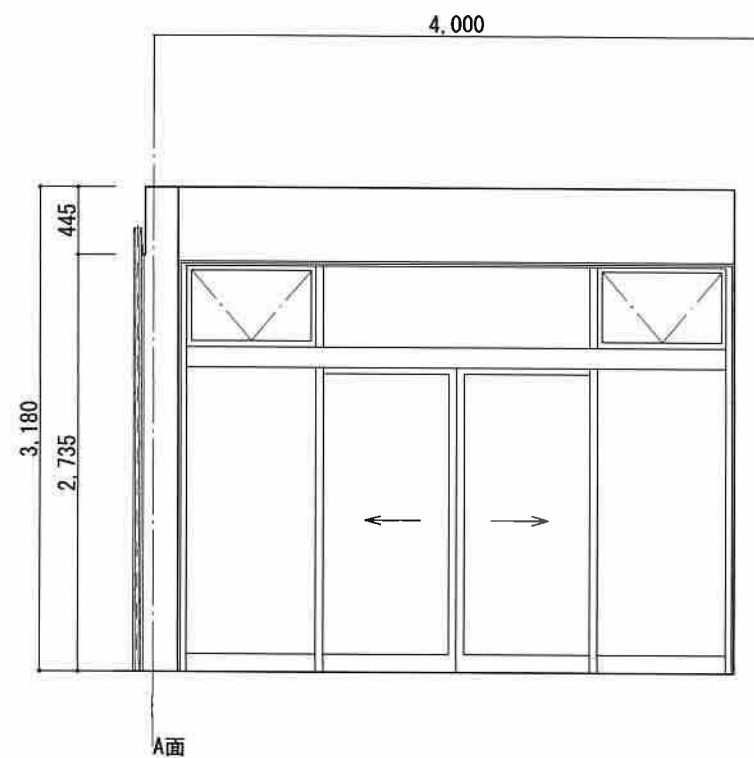
※シート貼りデザインや看板デザインは、施主と協議の事。
改修工事のため、寸法は参考としし再度現地確認の事



			1級建築士登録第304900号 安谷 潔 美		住空間デザイン KANNON		TITILE ポート赤碕内通路リニューアル工事		NO A — 3	
			DATE R4. 12	CHIEF	DRAW	TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		S 既存平面図 改修平面図 仕上表 S=1:100		DRAWING NO



1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON		カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事		NO A — 4
DATE R4.12		CHIEF		DRAW		S 既存天井伏せ図 改修天井伏せ図		S=1:100		DRAWING NO



※既存内壁はそのまま

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美

DATE CHIEF DRAW R4.12

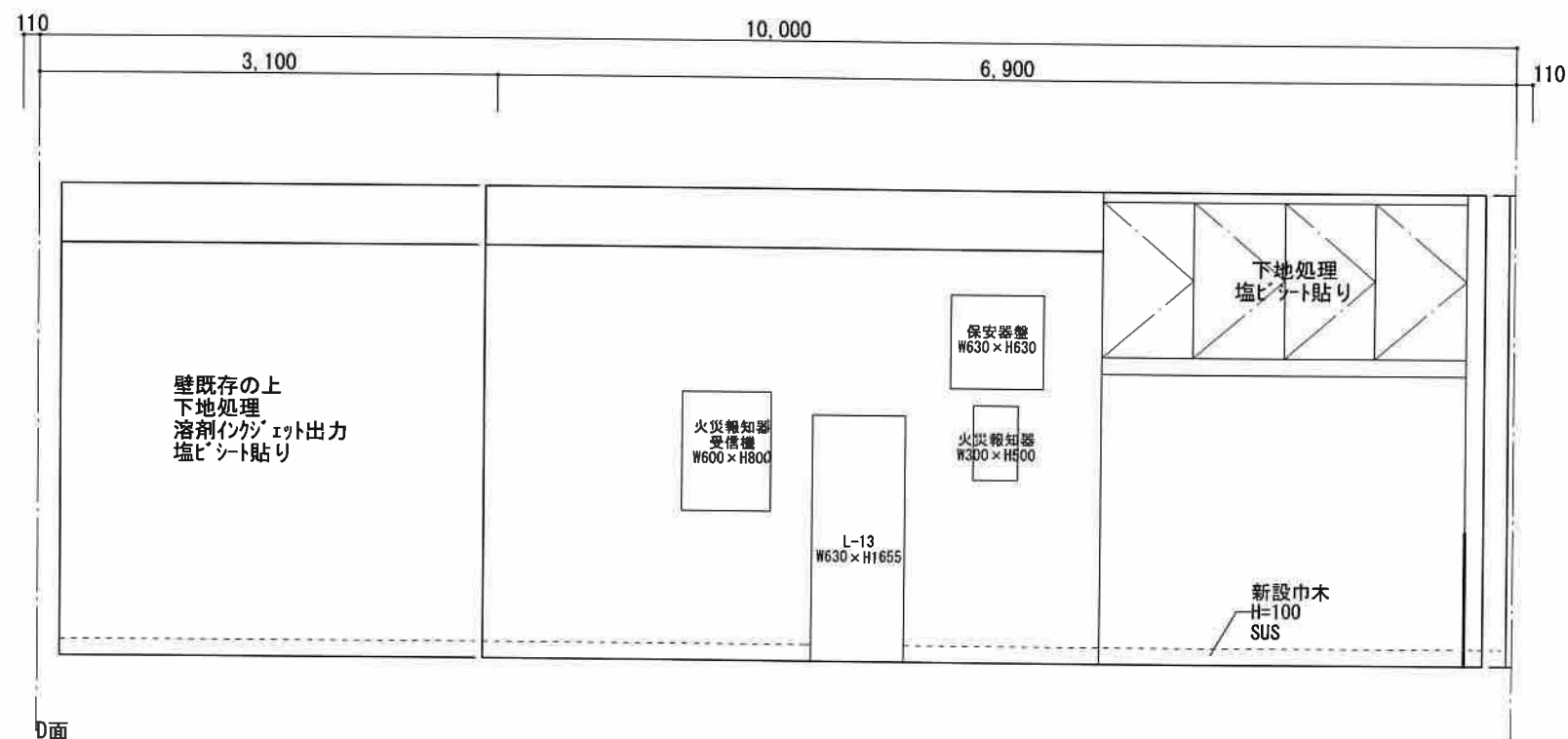
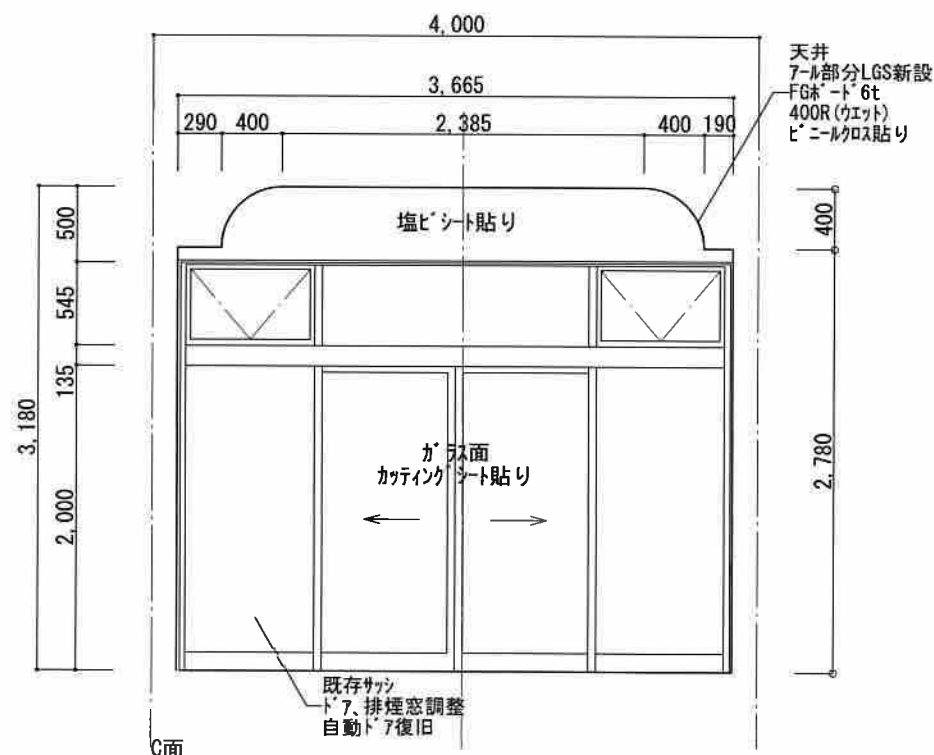
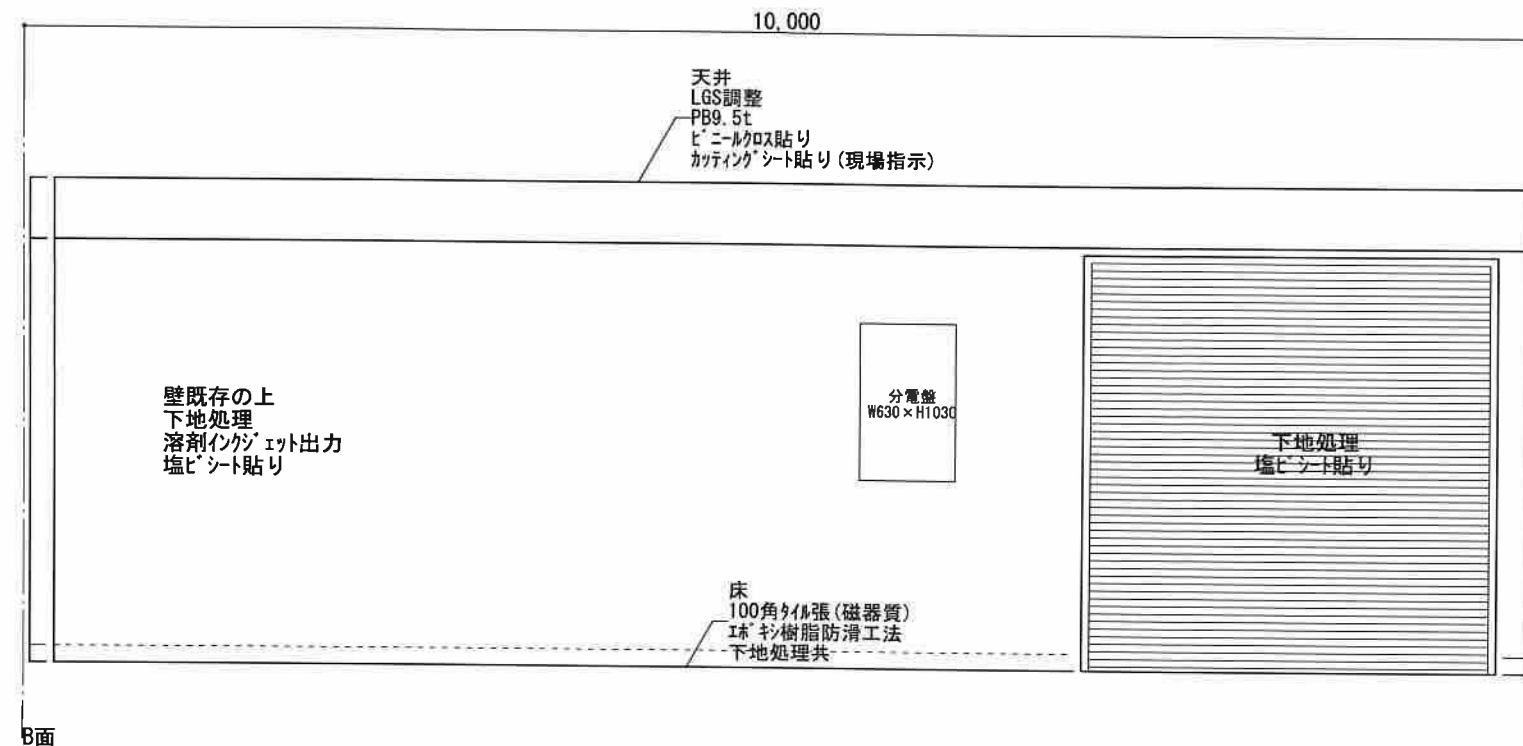
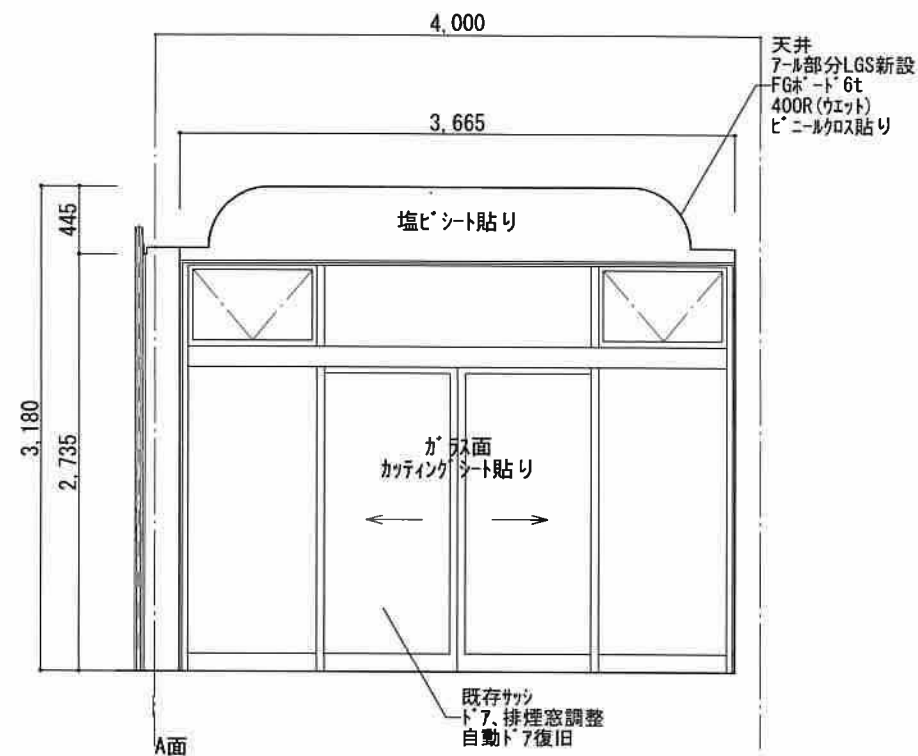
住空間デザイン
KANNON

カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

TITLE ポート赤碓内通路リニューアル工事
既存展開図

S
S=1:50

NO
A 5
DRAWING NO



7-ル部分位置は現場確認の事

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美

DATE CHIEF DRAW R4.12

住空間デザイン
KANNON

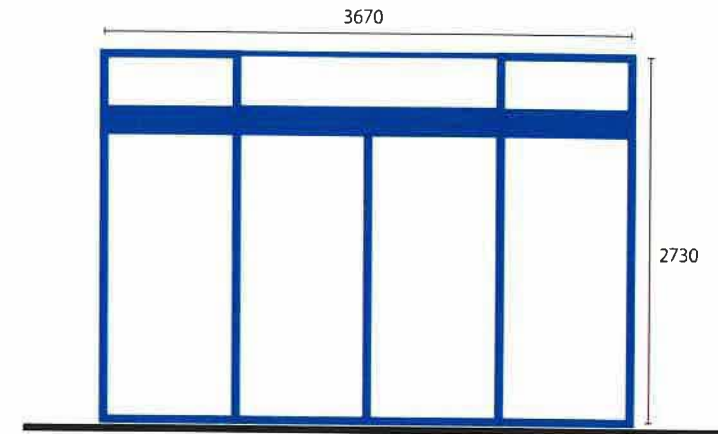
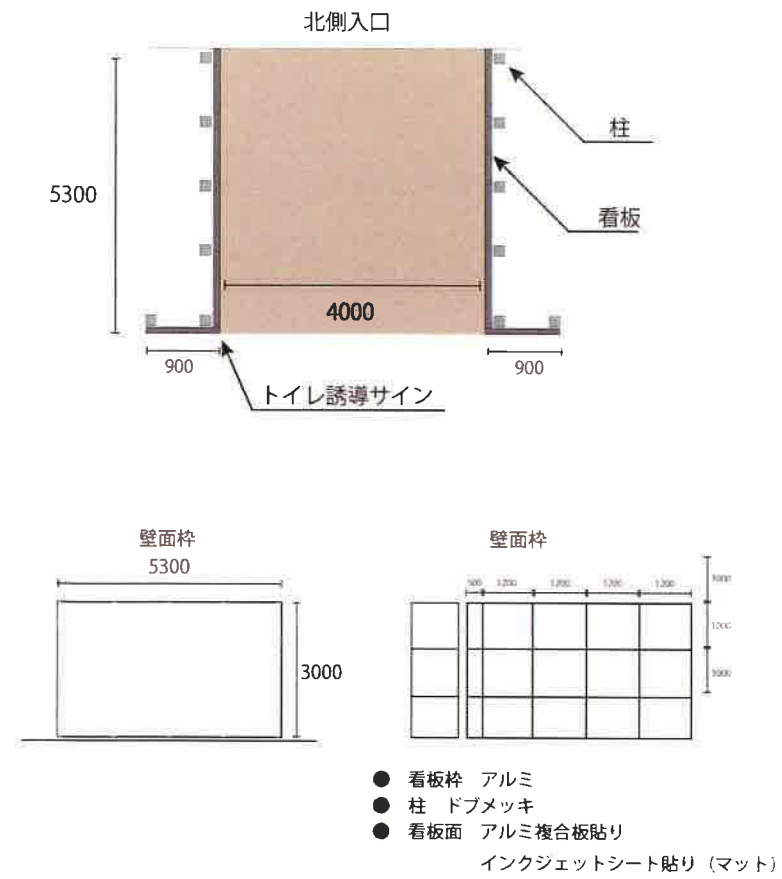
カノン設計室
TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事

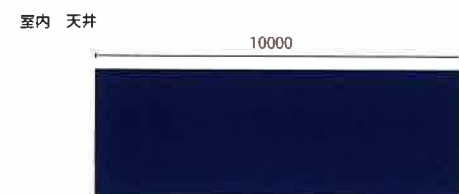
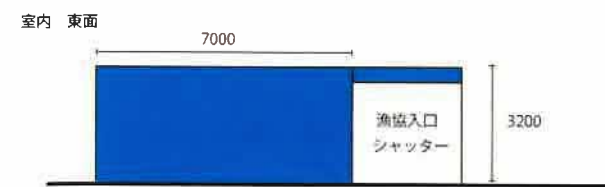
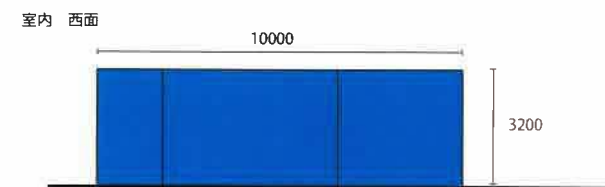
改修展開図 S=1:50

NO A 6

DRAWING NO



- 入口 サッシ ダイノックシート貼り
ガラス 図柄入れ

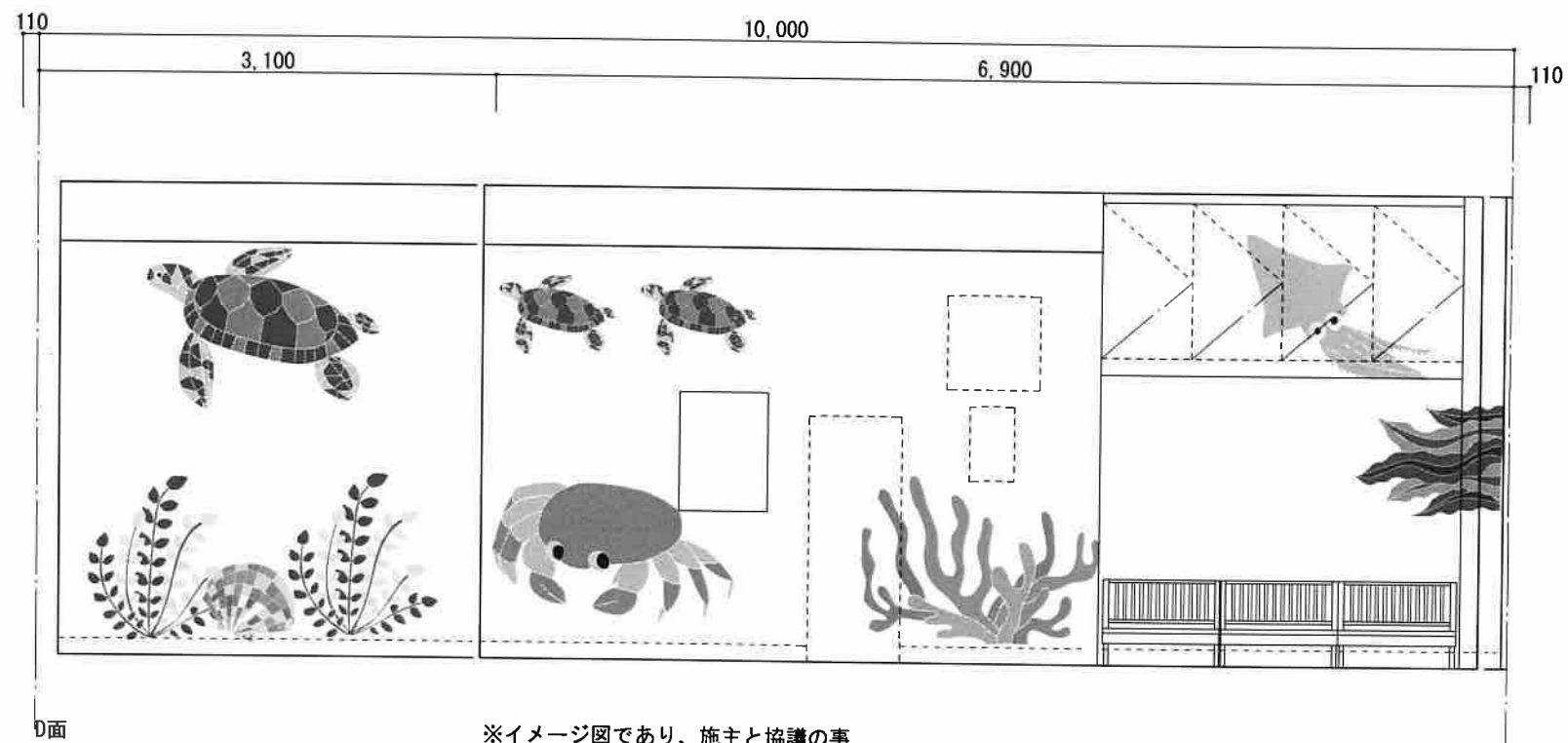
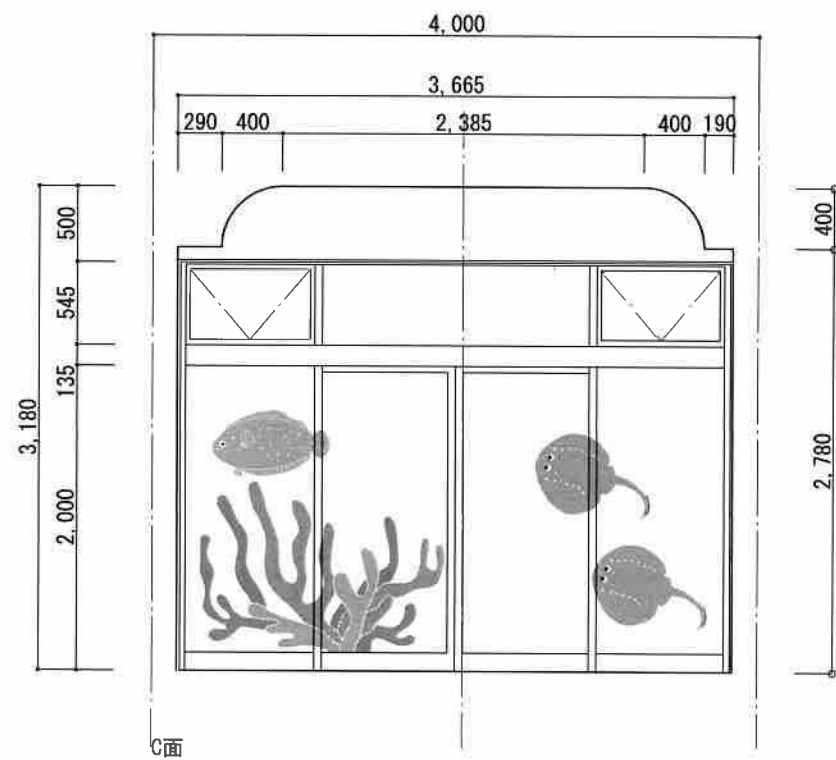
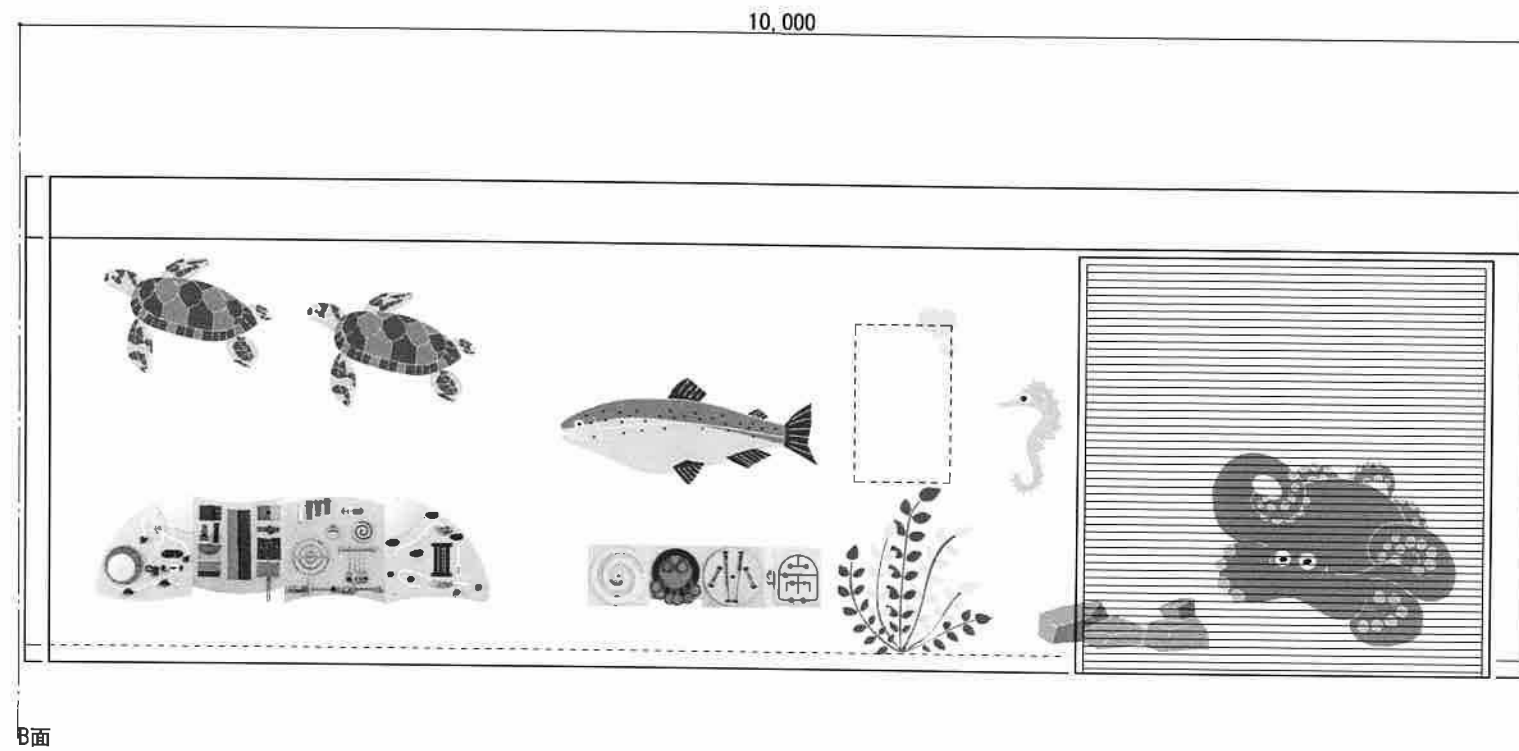
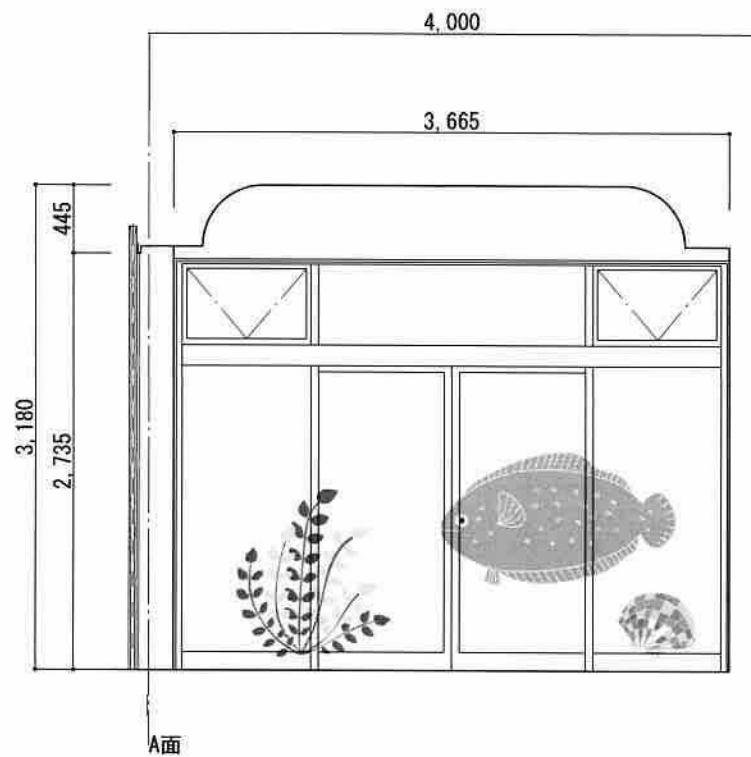


- 壁面 アルミ複合板貼り
インクジェットシート貼り（マット）
- シャッター面 インクジェットシート貼り（マット）
又は
塗装 図柄シート貼り
- 天井面 クロス 貼り 図柄入れ

※駒工藝作成（同等品）



住空間デザイン KANNON 1級建築士登録 第3049000号安谷潔美 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	カノン設計室	TITLE	ポート赤碓内通路リニューアル工事 NO A — 7
		塩ビシート貼りイメージ図-1 S S=1:NOT	DRAWING NO



※イメージ図であり、施主と協議の事

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美

DATE

CHIEF

DRAW

R4.12

住空間デザイン

KANNON

カノン設計室

TEL 0858-52-1175
FAX 0858-52-1176

TITLE

ポート赤碕内通路リニューアル工事

塩ビシート貼りイメージ図-2

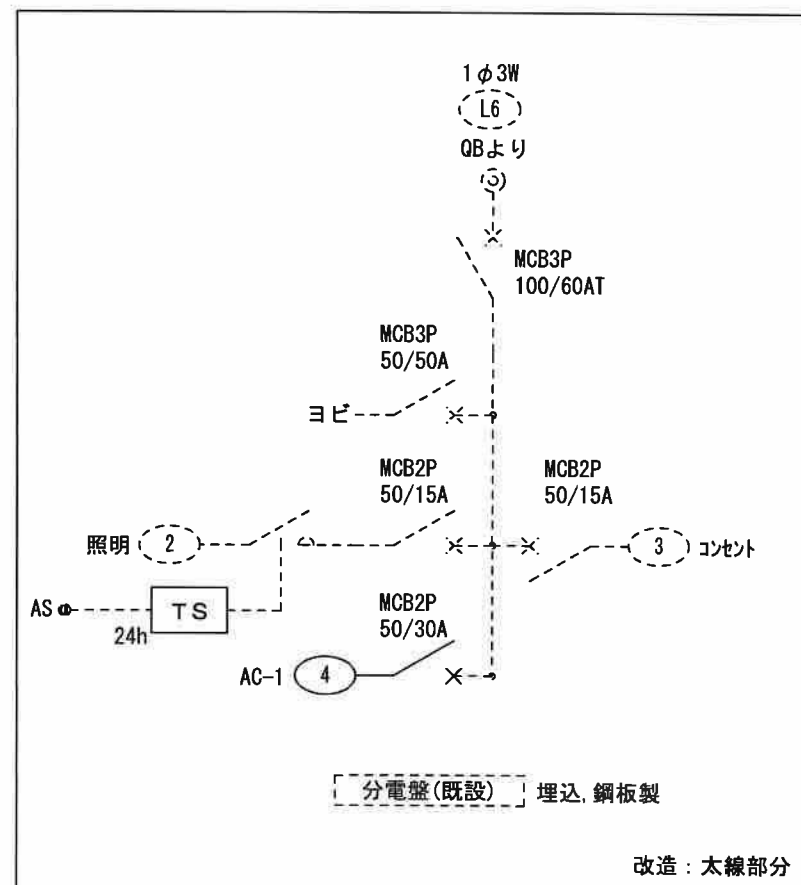
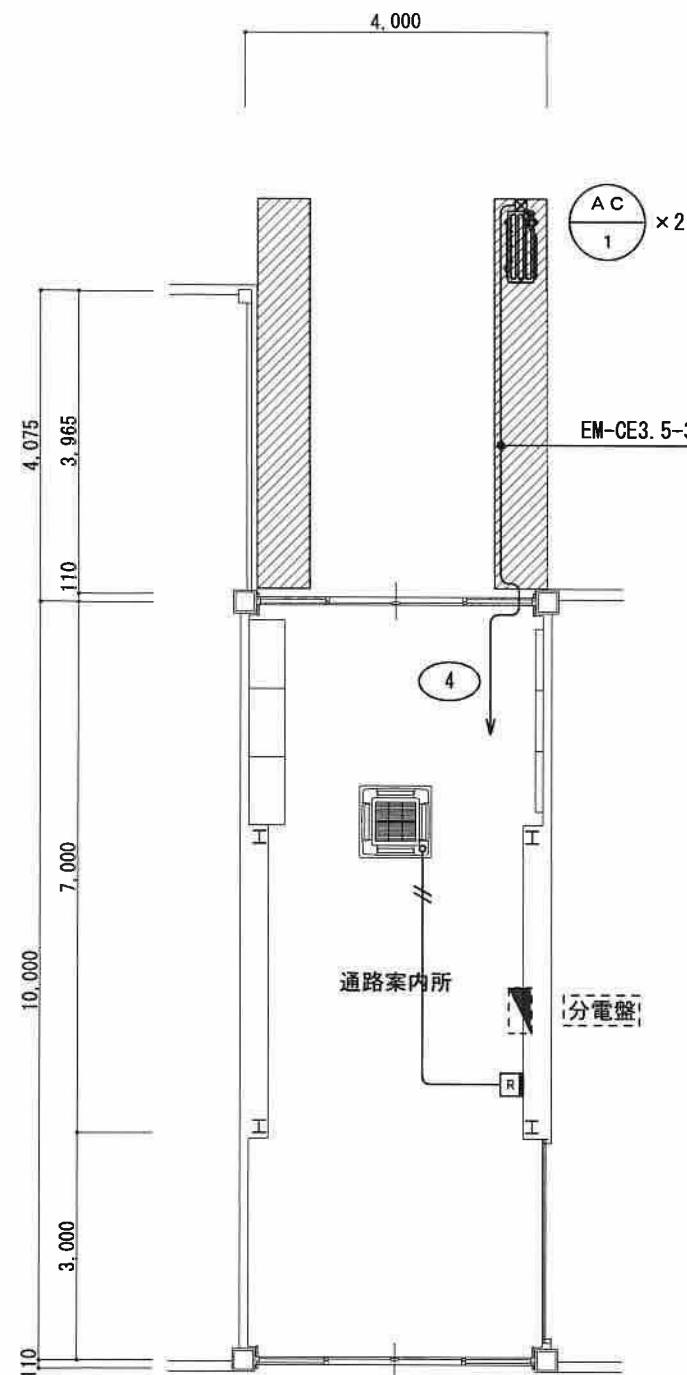
S=1:50

NO

A

8

DRAWING NO.

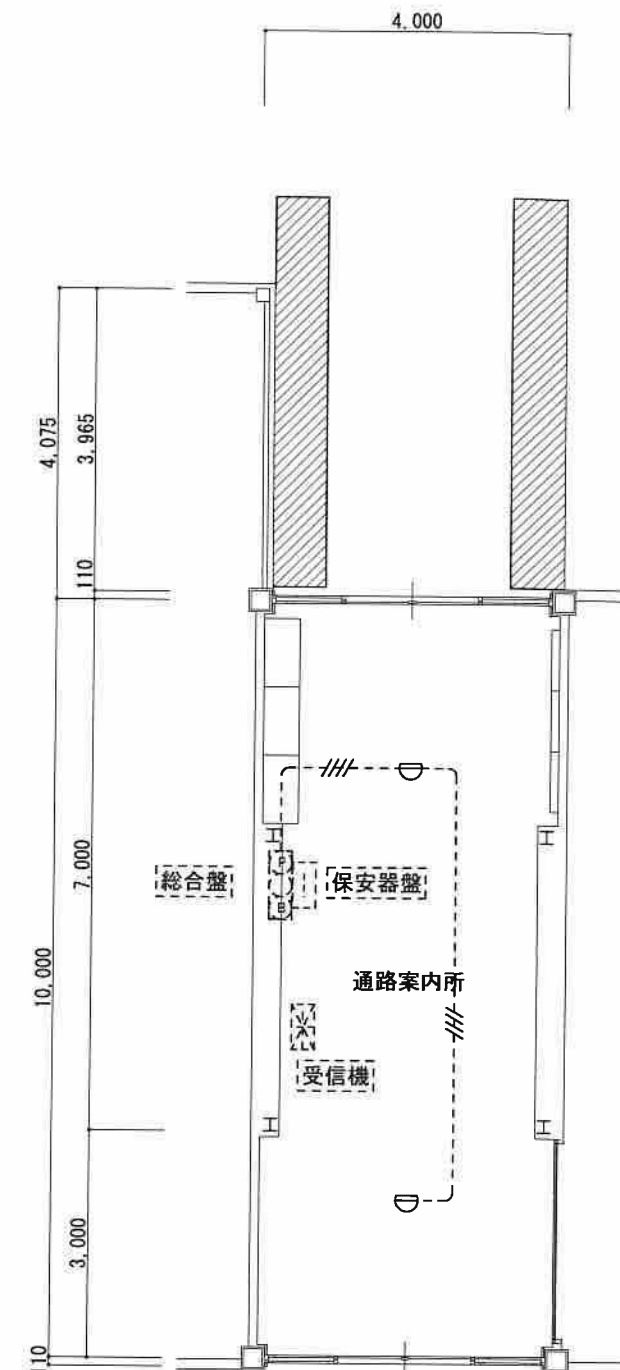
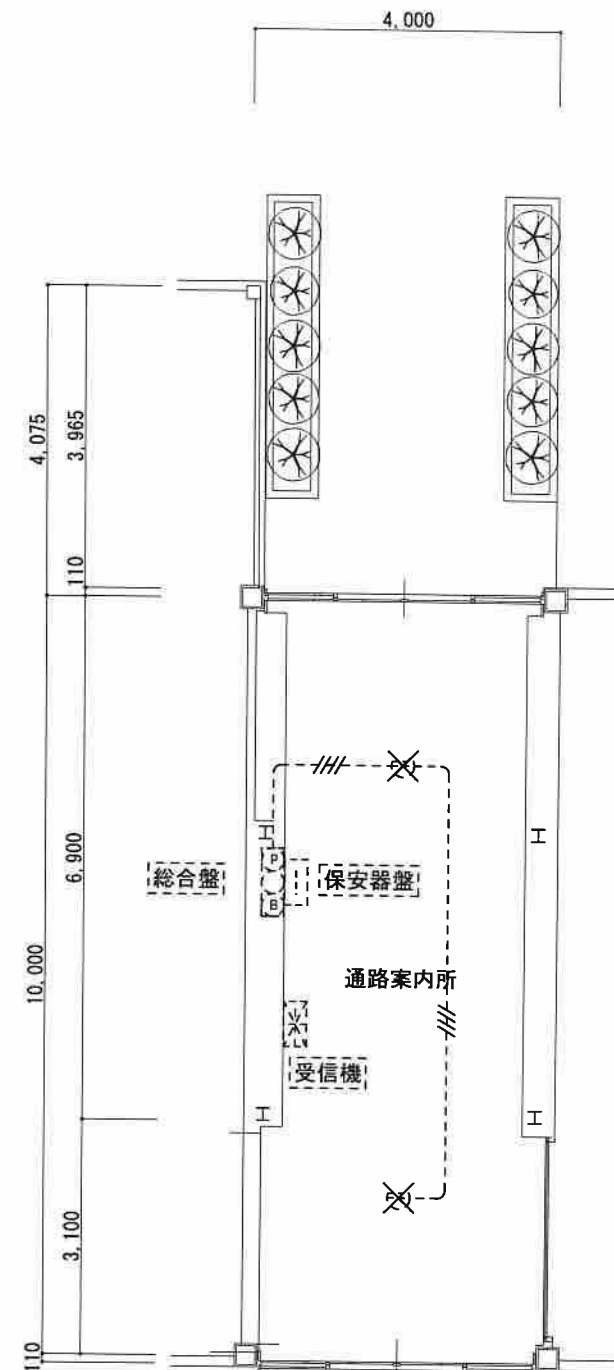


注 記

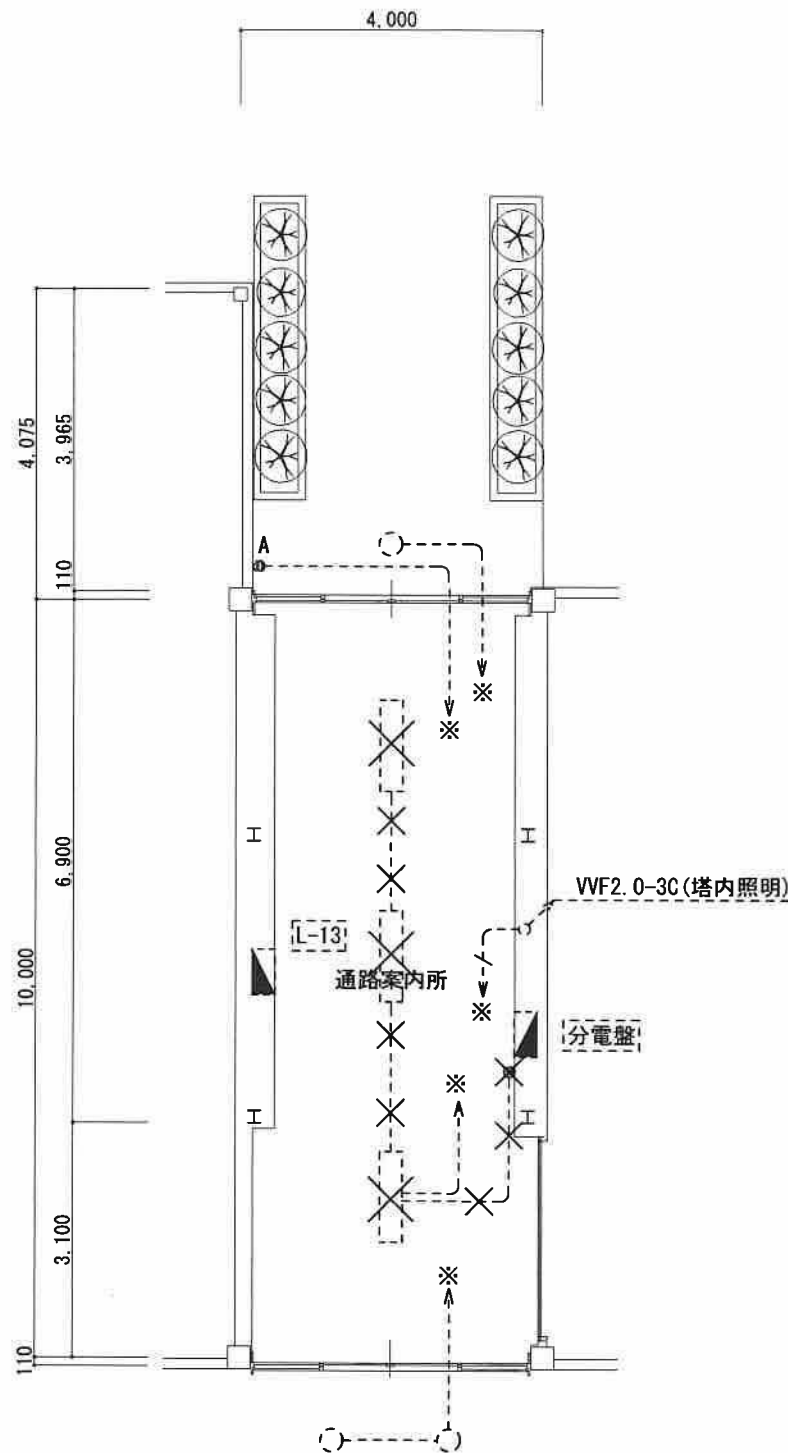
1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

—/#—	EM-AE1.2-2C(コガッ)
<input checked="" type="checkbox"/> R	空調リモコン(機械設備支給品)
<input checked="" type="checkbox"/> 〇	差動式スリット型感知器 2種 露出
<input checked="" type="checkbox"/> X	撤去

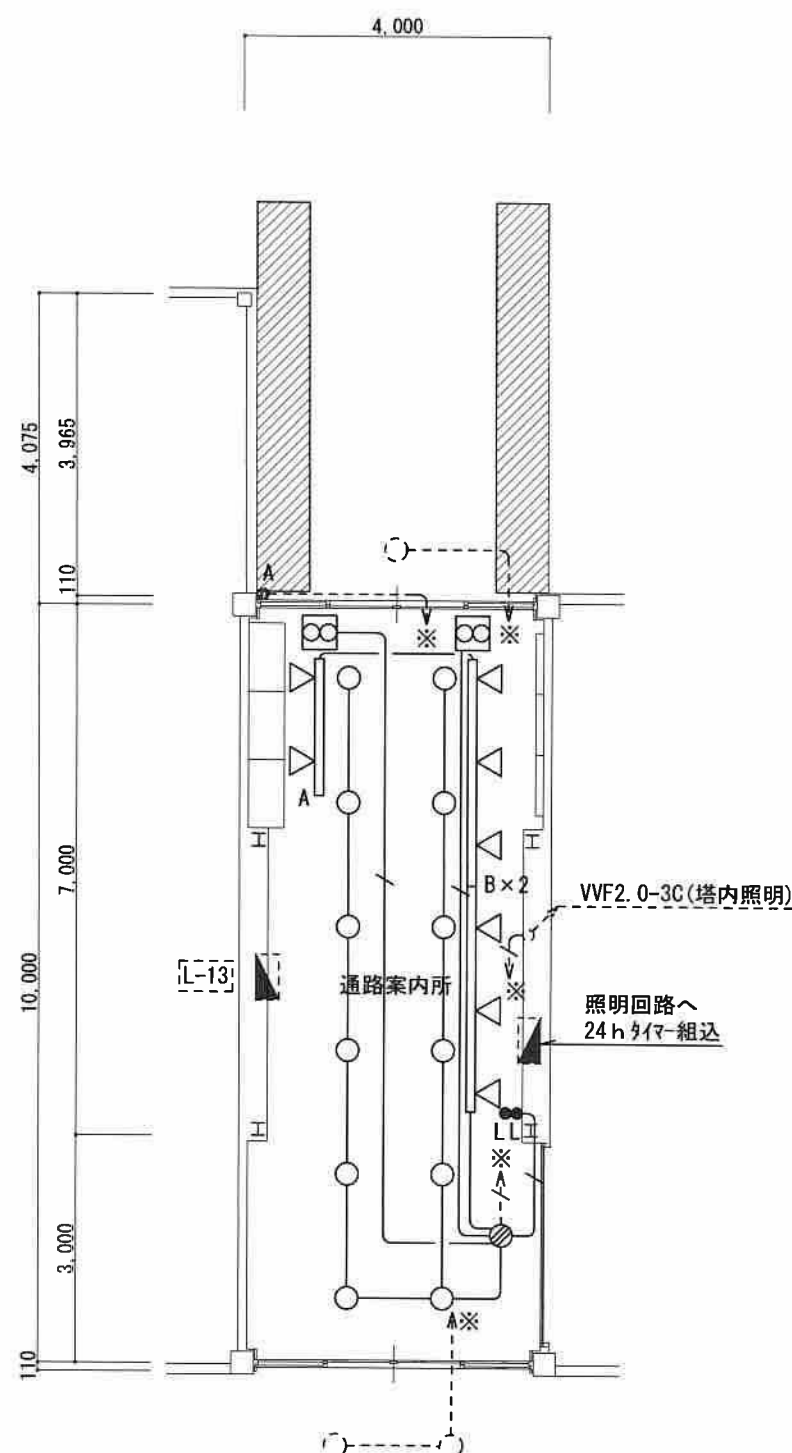
2. 破線の配管配線, 器具等は既設再用とする。



			1級建築士登録第304900号 安谷 潔美			住空間デザイン		カノン設計室		TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事		NO E — 1		
			DATE R4.12	CHIEF	DRAW	KANNON		TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		S 空調電源計装・自火報設備		DRAWING NO		



既存平面図 1 : 100



改修平面図 1 : 100

ダウンライト	LED150形 11.6W	12
	(FHT32形相当)	
		
<p>LED内蔵<ワンコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 3500K、Ra85、広角タイプ 光束光束角15度、光束寿命40000時間 (光束維持率85%) 器具光束: 1615lm、消費電力: 11.6W、電圧: 100-242V 反射板 (上部): プラスチック (ホワイト) 反射板 (下部): 鋼板 (ホワイトつや消し仕上) 枠: 鋼板 (ホワイトつや消し仕上)、通込内径150</p> <p>温白色</p>		
スポットライト	LED250形 19.4W	8
	(HID35形相当)	
		
<p>LED内蔵<ワンコア (ひと粒) タイプ>、電源ユニット内蔵 可変配光型、普光色タイプ、狭角~広角 配光調整機能付 100V配線ダクト取付型 3500K、Ra85、光束寿命: 40000時間 (光束維持率70%) 光束時 (17°) 器具光束: 1145lm、消費電力: 19.4W 電圧: 100V、光束角度約90度、水平回転角度360度 灯罩: アルミダイカスト (ホワイトつや消し仕上)</p> <p>温白色</p>		

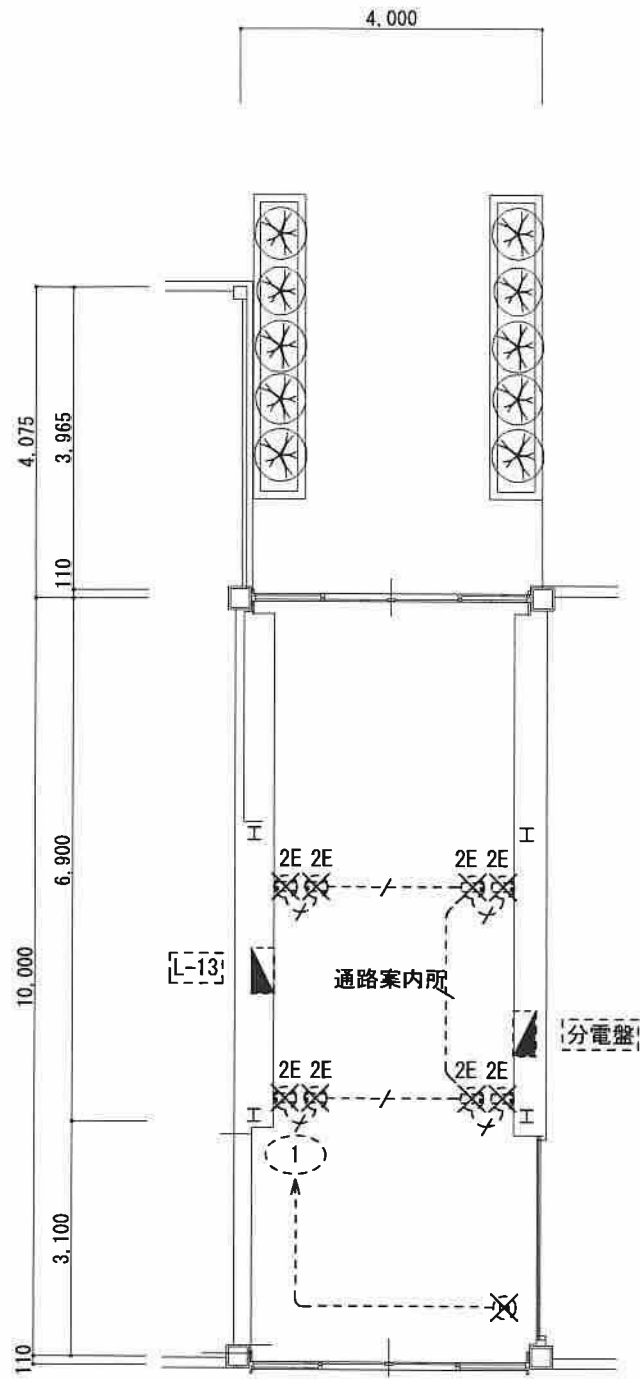
注記

1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

—	EM-EEF1.6-2C (コロガシ)
— / —	EM-EEF1.6-3C (コロガシ)
—	照明レール (A : 2m, B : 3m)
●L	パイロットスイッチ 1PL15A × 1 (フルカラー、樹脂プレート)
×	撤去
※	行先は分電盤

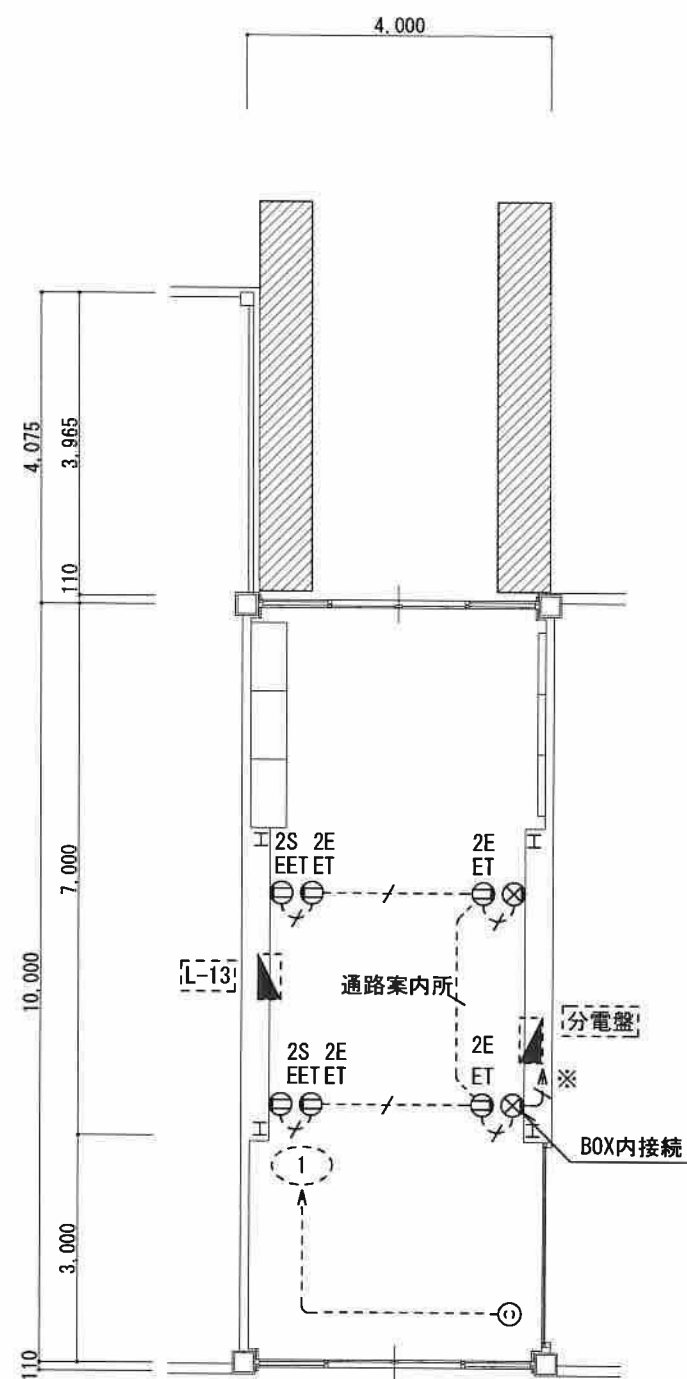
2. 破線の配管配線、器具等は既設再用とする。

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン	カノン設計室	TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事 電灯設備	NO E 2 DRAWING NO
DATE R4.12	CHIEF	DRAW	KANNON	TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176			



コンコース

既存平面図 1 : 100



コンコース

改修平面図 1 : 100

注 記

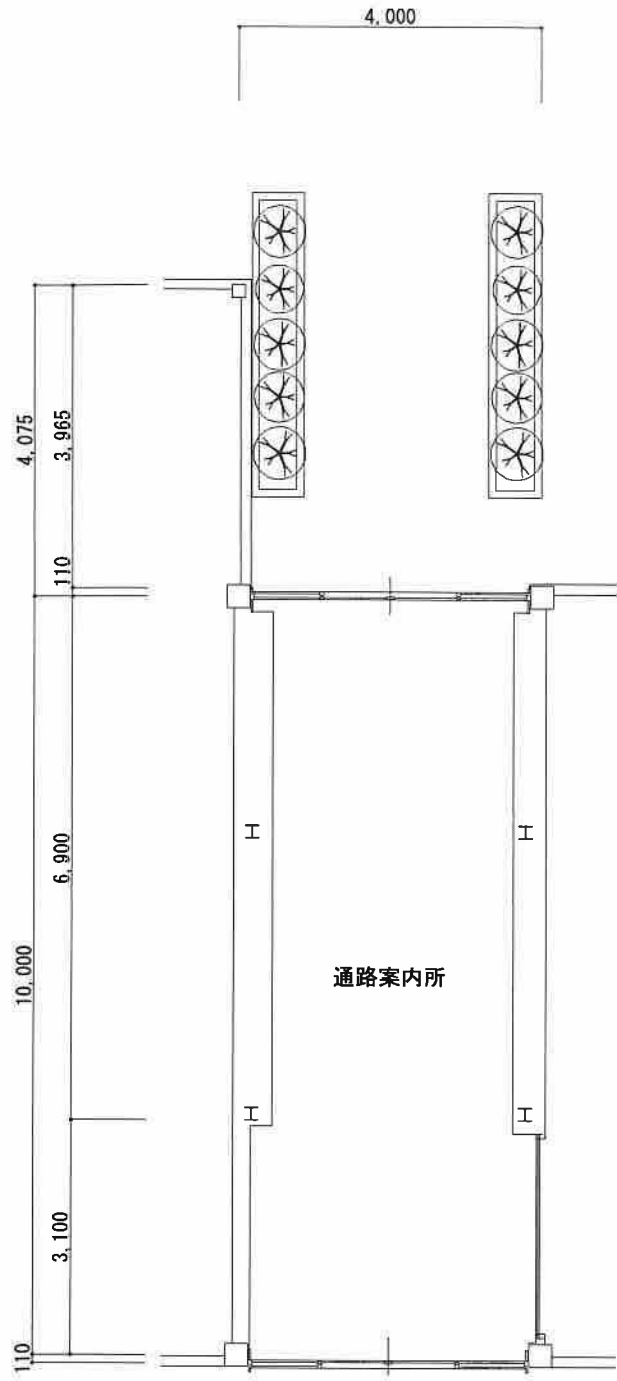
1. 図中特記なきは、下記の通りとする。

①2EET	接地極付接地ダブルコンセント(フッ素、樹脂プレート)
①2SEET	扉付接地極付ダブルコンセント(フッ素、樹脂プレート)
⊗	カバープレート(フッ素、樹脂プレート)
①	抜止コンセント(フッ素、樹脂プレート)
×	撤去
※	行先は分電盤

2. 破線の配管配線、器具等は既設再利用とする。

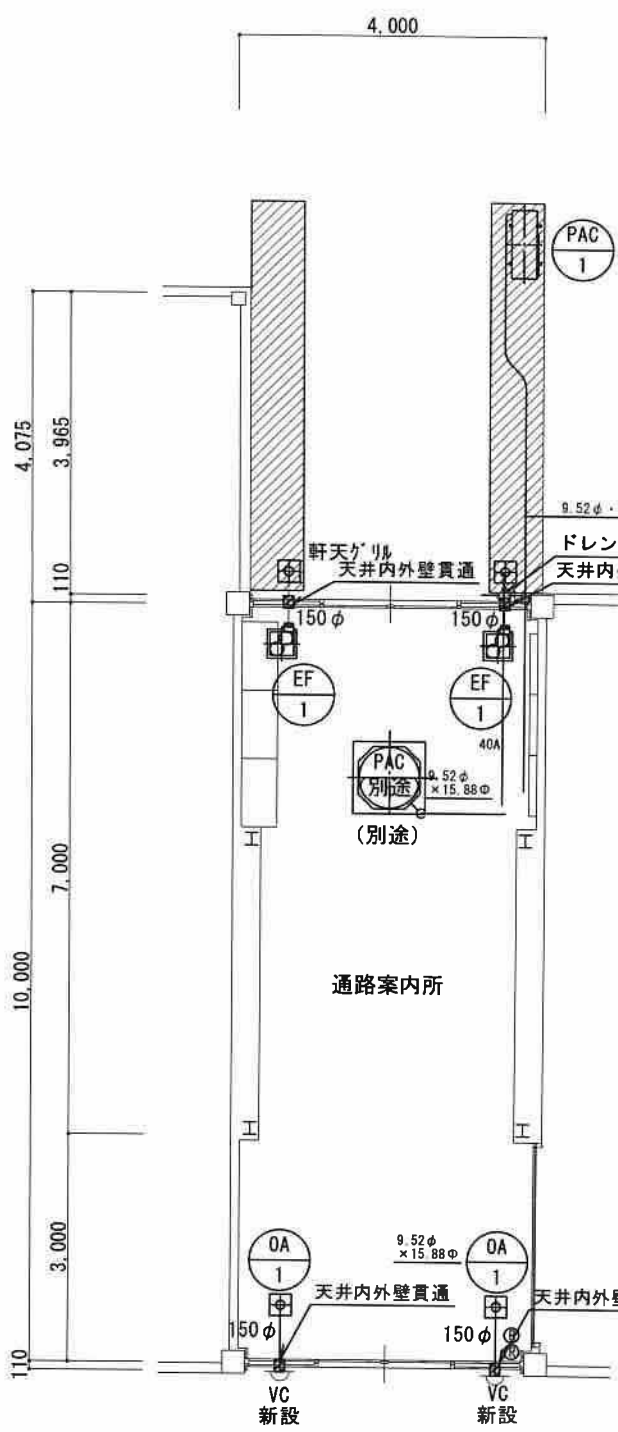
3. 配線器具の撤去、取替をする。

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON	カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176	T I T L E ポート赤碕内通路リニューアル工事 コンセント設備	NO E 3 DRAWING NO
DATE R4.12	CHIEF	DRAW					



コンコース

既存平面図 1 : 100



コンコース

改修平面図 1 : 100

空調機器表

機器番号	型番・仕様	数量
PAC-1 (別途)	空冷ヒートポンプパッケージエアコン (耐重塩害仕様) 天井カセット型 4 方向吹出タイプ 冷房能力 : 7.1KW 暖房 : 8.0KW 電源 : 1 φ 200V CON出力 : 1.4kw FAN出力 : 120w・86w 付属品 : ワイヤードリモコン・二段架台・歩行道ブロック・転倒防止金具 参考型番 : FDTZ805HK5SA	1

換気機器表

機器名	型番・仕様	数量
EF-1	天井扇 (参考型番 VD-18ZEP12-FP) 能力 : 150 φ * 320 CHM * 30 Pa	2
OA-1	給気口 150 φ (参考型番 P-18GLF6) アルミ製 深型フード (防虫網付) (参考型番 P-18VAQ4)	2

1級建築士登録第304900号 安谷 潔美				住空間デザイン KANNON		カノン設計室 TEL 0858-52-1175 FAX 0858-52-1176		TITLE ポート赤碕内通路リニューアル工事		NO M — 1
DATE R4.12				CHIEF		DRAW		S		DRAWING NO